

大きく伸びよ

半田同胞園保育所

運河沿いまで歩きました。

24日(月)春らしい陽気の中、年長さんと年中さんと半田運河沿いの“鯉のぼり”を見に出かけました。50数尾が風に吹かれて勢いよく泳いでいました。その下を歩いて「中埜半六邸」に向かいました。そこには南吉童話の紙芝居をしていただく“でんでんむしの



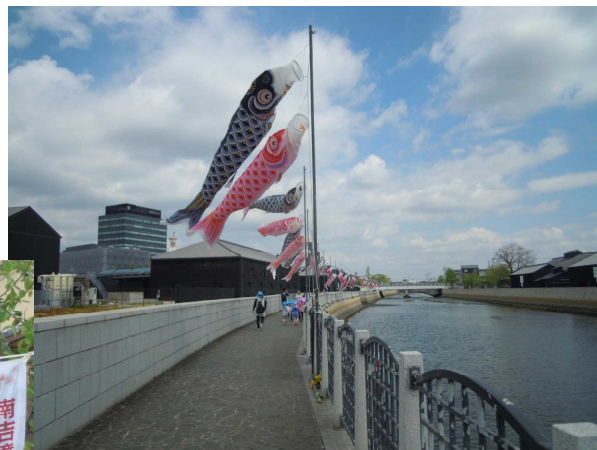
半六邸の庭で南吉作品を聞くことができました。とてもよい雰囲気でした。

帰り道、ベビーカーに小さな子どもを乗せた母親が、「この子達は何才の子ですか？」と聞かれました。『4歳児と5歳児で、今日は運河沿いまで歩いて鯉のぼりを見に行ったんですよ。』と応えますと、「へえ、すごいですね、噂には聞いていましたけど・・・。」と驚いた様子でした。同胞園の子はよく歩くという評判は本当なんだなと思いました。いい評判だと思います。

職員向けの研修会(救急法)を行いました。

24日(月)職員向けの研修会を実施しました。内容は「救急法」で、心臓マッサージやAEDの操作等が中心となりました。講師は昨年度もお世話になった消防士の都築修治さんです。今年度から同胞園の保護者ではなくなりましたが、子どもの命を守るために職員に指導を継続したいということでお世話になることになりました。

「心臓マッサージは1分間に110回です。用意始めー！」の合図で職員全員が模型の心臓を使って懸命にマッサージを続けます。たった1分間ですが、実際にやってみると結構きつく汗ばんできました。人工呼吸、AEDを使った指導を受けて緊張した時間でした。職員の様子は真剣そのものでした。次回は6月に実施します。



会”のみなさんが待っていてくださいました。こぢんまりした芝生の生えている場所で「きつねのつかい」「こぞうさんのおきょう」「げたにばける」の紙芝居を次々に披露してくれました。語り手の巧みな話しぶりに、子どもたちは物語の中に引き込まれていきました。さわやかな風に吹かれながら

